

碧南市こどもプラザこころっくしんかわ指定管理者審査委員会 会議録

日時

平成30年10月9日（火）午後1時30分～午後2時まで

場所

碧南市役所 2階 談話室4

出席者及び欠席者

- (1) 出席者 松井高善、伴野義雄、河原厚司、中根潮美、生田和重
- (2) 欠席者 厨子 健一、永坂好
- (3) 事務局職員 福祉こども部長 岡崎康浩、こども課長 中川英治、
課長補佐 石井香代、主事 森田裕希子
- (4) 指定管理者 碧南市社会福祉協議会事務局長 中山修、
課長補佐 杉浦淳子、
こころっくしんかわ所長 小栗いづみ

傍聴者 0人

委員会の成立 委員定数過半数以上出席により成立

会議の公開 市HPで委員の氏名、選出機関・団体名、会議録に出欠席者氏名、発言
内容の要旨を公表する旨説明

議事進行 松井委員長

議事の要旨

議題

- (1) こどもプラザこころっくしんかわの指定管理者の任意指定について
指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。
<主な意見・質疑>
【A委員】利用人数はどのように見込んでいるか。それに対する具体的な計画は何かあるのか。
【指定管理者】小中高生の利用は少ない。高校生はほとんど来ない。勉強しに来てくれても良い場所だが、なかなか勉強ができる環境ではないためほとんど来ない。中学生は小学校の時に来ていた子が時々顔を出す程度。小学生はギャラリーやホールなどで体を使って遊んでいる子が多い。常に遊びに来てくれる子に対しては、遊びや行事の中身を変えていきたいと思う。もう少

し小学生が遊びにきてくれるようなことを考えていきたい。

【B委員】 予算については今までと同じか。

【指定管理者】 社協は4つの施設内で職員の異動がある。現在は所長が再任用職員だが、来年度からは正規職員を配置する予定。その分の増額を見込んでいる。増えた分は他の児童センターで人件費が下がる予定をしている。

【C委員】 小中学生の趣味ができる場があるともっと利用が増えると思う。

【D委員】 事業計画書にある多世代交流とはどんなものか。

【指定管理者】 祖父母と遊びに来てもらったり、行事に参加してもらったり普段の遊びを一緒にやってもらいたいと思っている。父親と一緒に参加できるものも増やしていきたい。

上記の審議・意見の後、全会一致で了承された。